三菱乗用エレベーターのモデルチェンジ

池島宏行* 河合清司*
安藤 宏* 吉田研治*
林 美克* 春日 敬**

要 旨

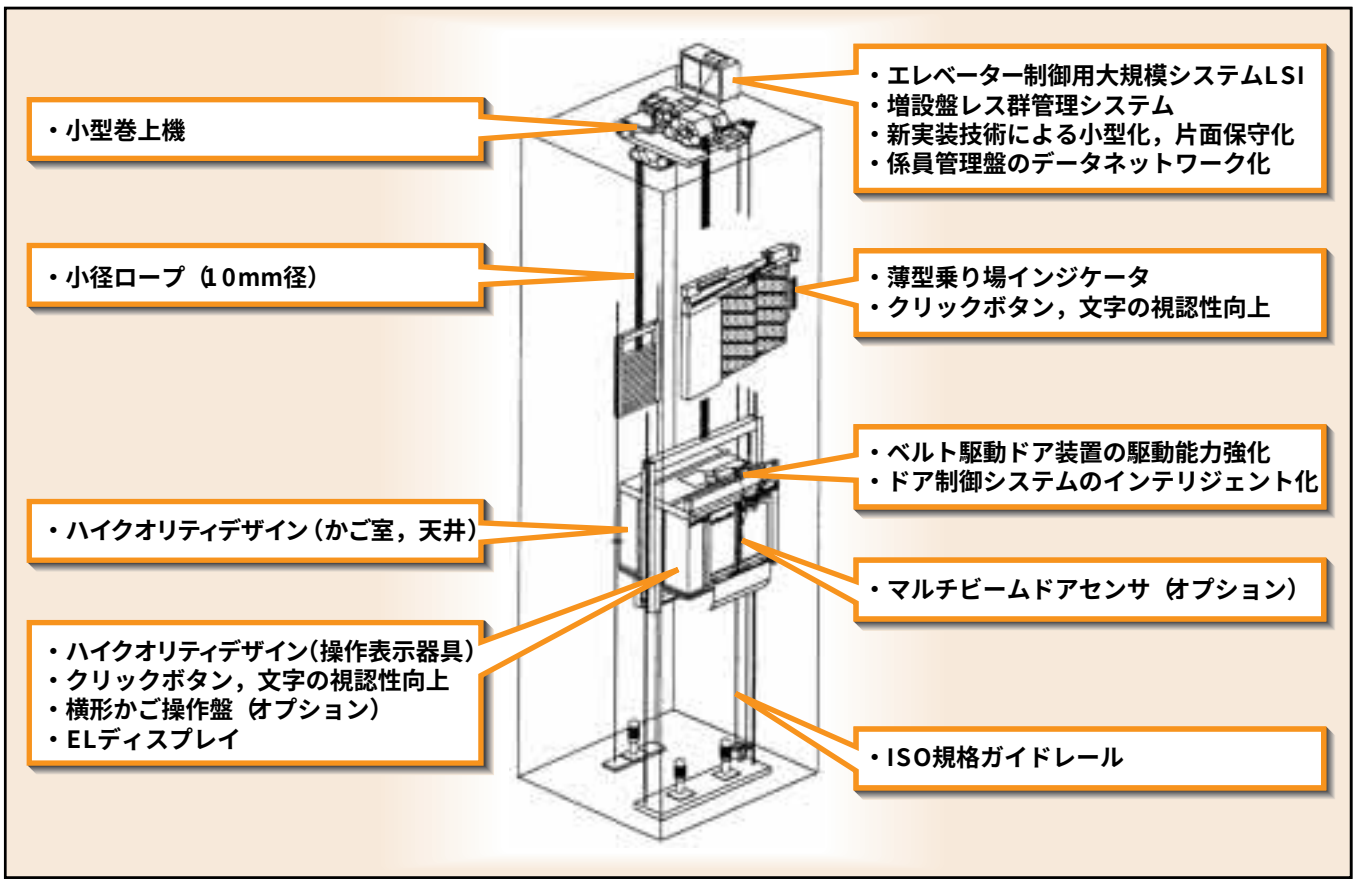
“Efficient(効率が良く)，Reliable(安心感があり，信頼性に優れ)＆Comfortable(快適な移動空間の創造)”という三つのキーワードを基に，新型“グランディ”及び新型“ACCEL-AI”をそれぞれ1997年7月と12月に発売を開始した。

以下，この新機種に投入した最新技術を紹介する。

(1) Efficient
- ●エレベーター制御用大規模システムLSI
- ●増設盤レス群管理システム
- ●新実装技術による制御盤，昇降路機器の小型化，高速エレベーター制御盤の片面保守化
- ●ベルト駆動ドア装置の駆動能力強化
- ●小径ロープ(10mm径)対応の小型巻上機
- ●薄型乗り場インジケータ
- ●ISO規格ガイドレール

(2) Reliable
- ●RISCマイコンによるドア制御システムのインテリジェント化
- ●係員管理盤のデータネットワーク化
- ●マルチビームドアセンサ

(3) Comfortable
- ●ハイクオリティデザイン
- ●ユニバーサルデザイン
  (横形かご操作盤，クリックボタン，ボタン文字視認性向上)
- ●ELディスプレイ



三菱乗用エレベーターのモデルチェンジ概要

三菱電機の標準型エレベーター“グランディ”，及び特注型乗用エレベーター“ACCEL-AI”は，“人に優しいエレベーター”や“快”を製品コンセプトとし，初回モデル(90年)を発売以来多くの納入実績を重ねてきた。今回のモデルチェンジでは，省資源や高福祉化，経済性など一層多様化する顧客・市場ニーズを上記三つのキーワードでとらえ，最新技術でそれぞれのキーワードを実現している。

*稲沢製作所 **デザイン研究所